



株式会社メドレックス

資金調達の補足説明

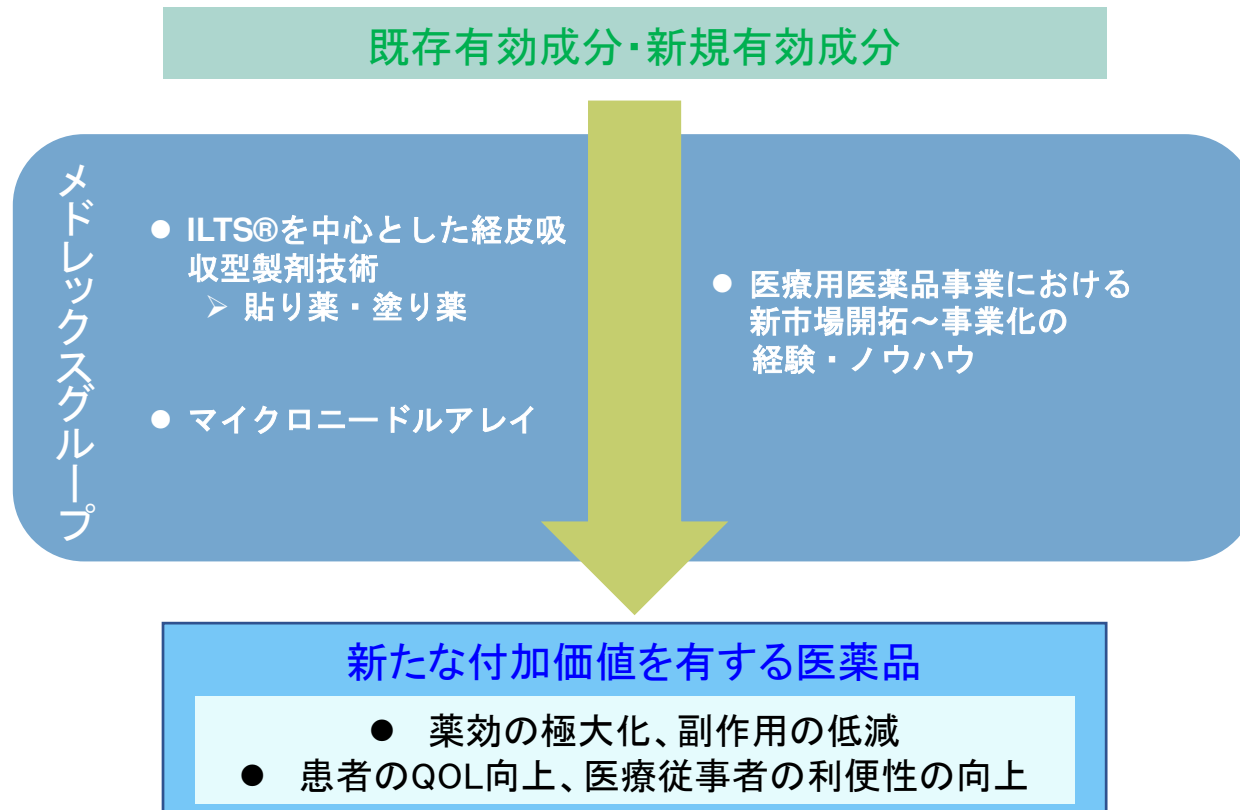
2019年2月12日

1. 事業概要
2. 本資金調達背景
3. 調達資金の用途
4. 資金調達の概要
5. 他の資金調達手段との比較

事業概要



- 当社独自の経皮吸収型製剤技術を基に新たな医薬品を生み出す創薬企業グループ



当社グループは、イオン液体を利用した独自の経皮製剤技術ILTS®、薬物のナノコロイド化技術を利用した独自の経皮製剤技術NCTS®を中心とした医薬品製剤技術を用いて、低分子から高分子に至る様々な有効成分の経皮吸収性を飛躍的に向上させることにより、新しい医薬品を開発することを事業の中核に据えた創薬ベンチャーであります。

本資金調達背景



<開発パイプライン>

製品名・ 開発コード	製剤開発	非臨床	Ph- I	Ph- II	Ph- III	承認申請	上市
CPN-101(MRX-4TZT) 痙性麻痺治療貼付剤 (チザニジン transdermal, ILTS®)	→			2017年4月 Cipla USAと開発・販売ライセンス 契約締結（東アジア除く） 2019年 P1b試験とP2試験を実施予定			
MRX-10XT 中枢性鎮痛貼付剤 (オキシコドン transdermal, ILTS®)	→			2018年 2月P1a試験結果判明 2019年 P1b試験実施予定			
MRX-5LBT 帯状疱疹後神経疼痛治療貼付剤 (リドカイン topical, ILTS®)	→					2018年6月 検証的比較試験 で生物学的同等性を確認 2020年NDA申請見込み	
MRX-7MLL アルツハイマー治療薬 (メマンチン transdermal, NCTS®)	→			非臨床実施中、2019年IND見込み、P1a試験実施予定			
新規パイプライン	→						
第一三共との共同開発 (NCTS®)	(薬物名、適応症等は非開示)						
武田への技術ライセンス (ILTS®, NCTS®)	(薬物名、適応症等は非開示)						

<資金調達の目的>

- 最も開発の進んでいるMRX-5LBTの臨床試験および非臨床試験等を実施する資金を早期に確保
- 新規の自社開発パイプラインの開発資金を機動的に確保

調達資金の使途



調達予定総額
約12.7億円



調達資金の使途①・②



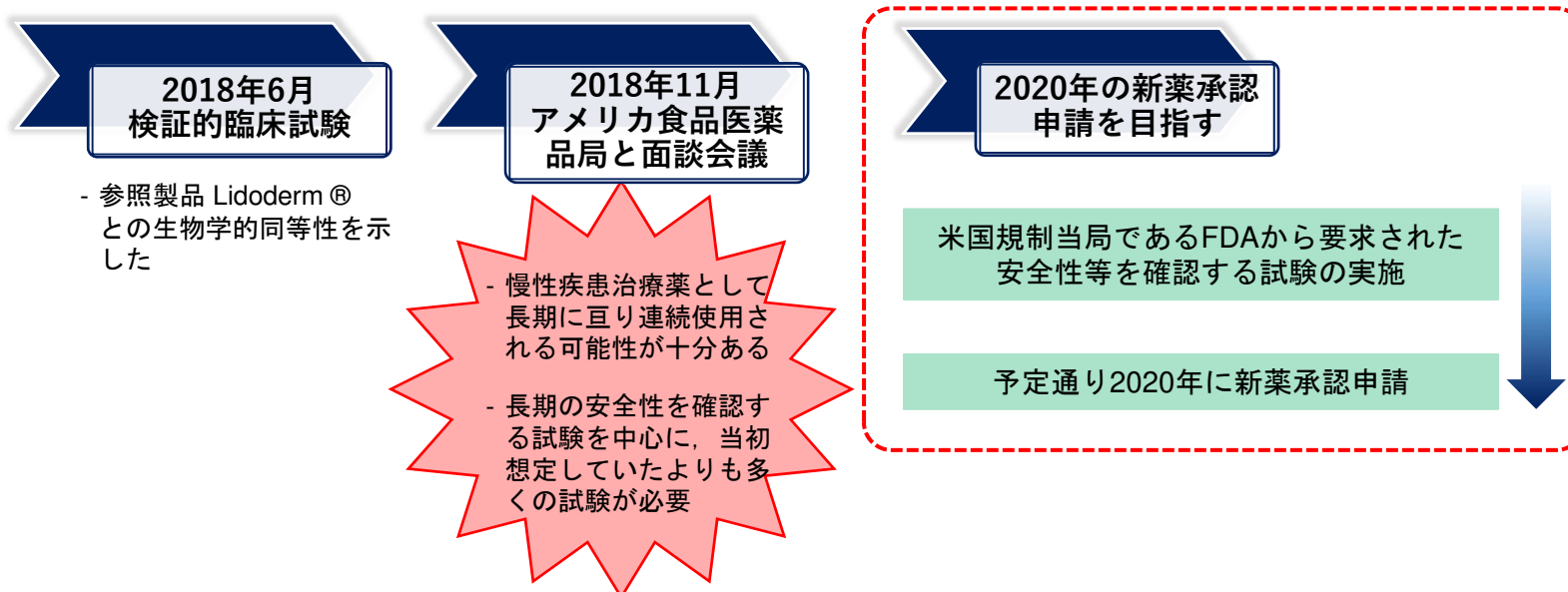
<MRX-5LBTの追加試験費用：11億円>

- 最も開発の進んでいるMRX-5LBTの①臨床試験および②非臨床試験等を実施する資金を早期に確保

製品名・ 開発コード	製剤開発	非臨床	Ph-I	Ph-II	Ph-III	承認申請	上市
MRX-5LBT 带状疱疹後神経疼痛治療貼付剤 (リドカイン topical, ILTS®)						2018年6月 検証的比較試験で生物学的同等性を確認 2020年NDA申請見込み	

臨床	非臨床
7.8億円	3.2億円

- 慢性疾患治療薬として長期に亘り連続使用される可能性有り



MRX-5LBTの早期の上市を目指し、2020年に600億円規模となる市場をターゲットに

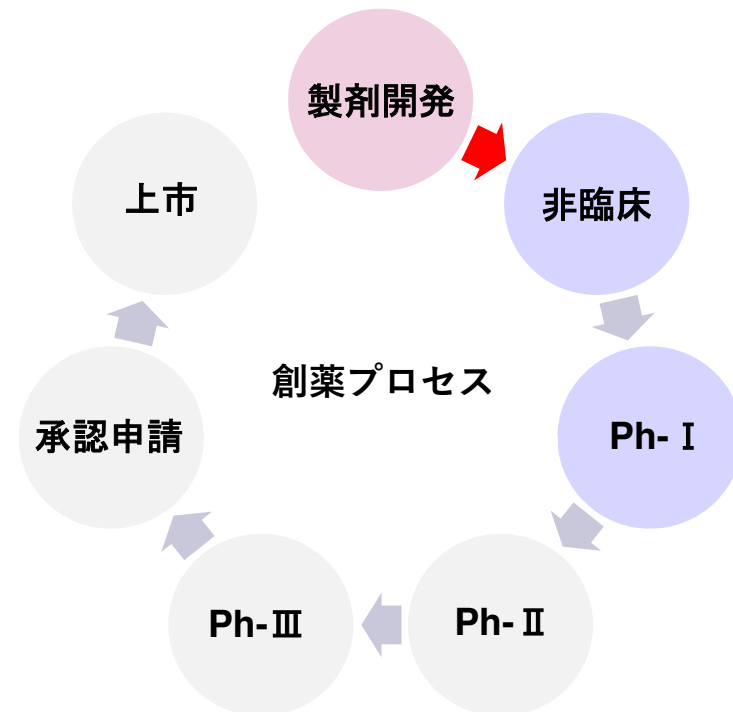
調達資金の使途③



<新規自社開発パイプラインの開発資金 1.7億円>

既存パイプライン以外の複数の自社開発パイプライン（疼痛治療薬剤、精神疾患治療薬剤等の経皮吸収型医薬品）について製剤開発が完了

FDA(Food and Drug Administration)に治験前相談（pre IND meeting）を要請中



1

自社開発パイプラインの創薬プロセスに向けて機動的に資金調達

2

各パイプラインが内包している開発進捗不順による収益の不確実性を分散するための方策としても、積極的に開発パイプラインのポートフォリオを充実

当社グループの収益基盤を強化・複線化

資金調達概要



● 新株式の発行：180,000株

株式会社メドレックス代表取締役会長と社長の松村眞良と松村米浩及びその親族が株式を保有する資産管理会社である株式会社MMを割当予定先とする第三者割当

⇒これまで以上に企業価値向上を目指して経営にコミット

新株式	
調達予定金額	約1億円
発行価額	98,100,000円と条件決定日（当社取締役会が定める2019年2月15日から18日までのいずれかの日）の直前取引日の終値のうち、高い金額
発行株数	18万株
割当予定先	株式会社MM

● コミット・イシュー：2,320,000株

割当予定先が原則、一定期間において全部行使をコミットする蓋然性の高い資金調達方法

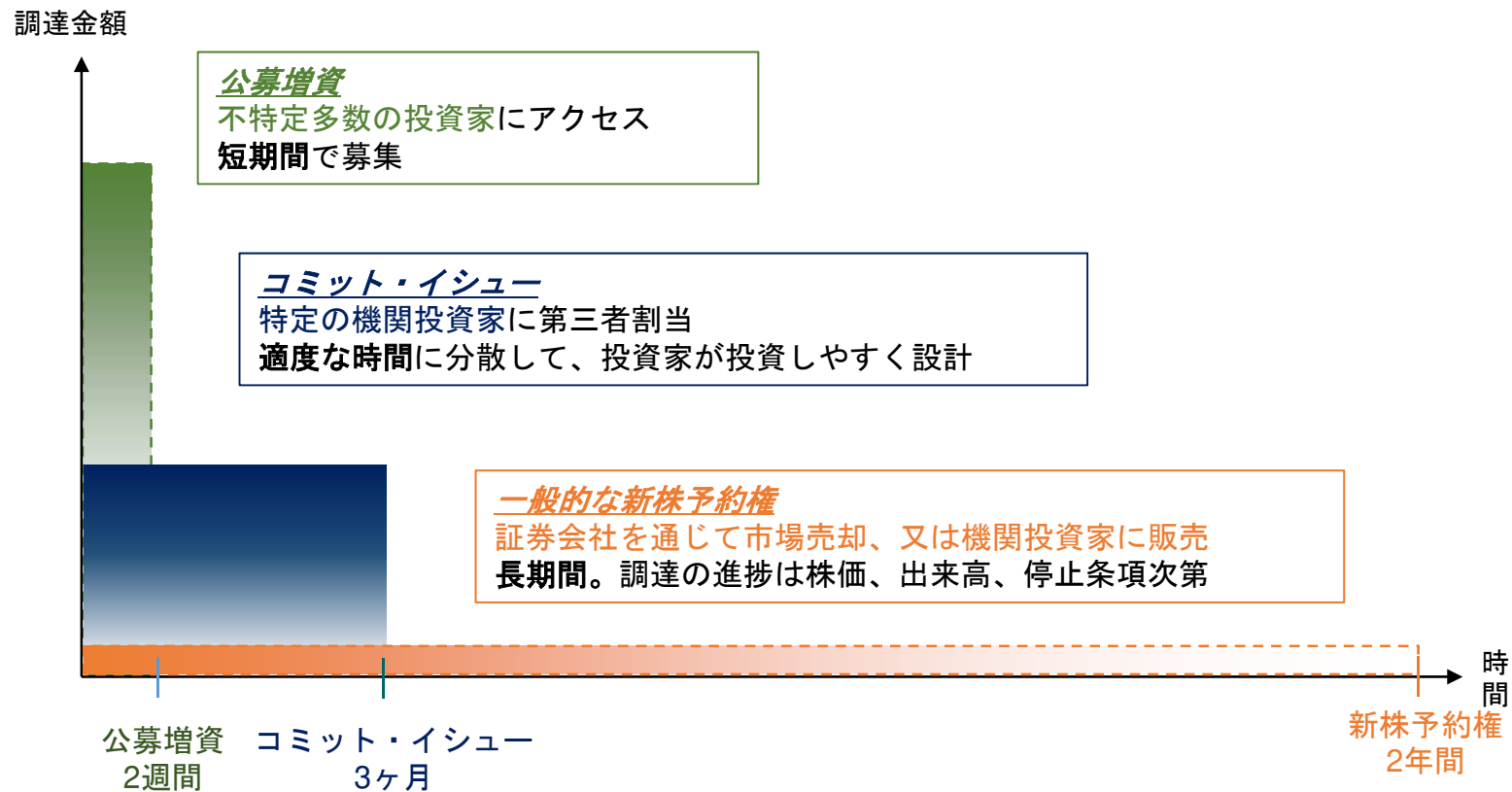
- EVO FUNDは約1.5ヶ月で前半コミット／約3ヶ月で全部コミット
- 当社は2018年11月30日付で243万株相当の第13回新株予約権を取得・消却済み⇒消却された相当株式数と本件による新規発行相当株式数はほぼ同数

第14回新株予約権（コミット・イシュー）	
調達予定金額	約11.7億円
発行価額	1,252,800円と条件決定日（当社取締役会が定める2019年2月15日から18日までのいずれかの日）に算定された金額うち、高い金額
発行株数	232万株
割当予定先	EVO FUND
行使価額	当初行使価額：当社取締役会が定める条件決定日の直前取引日終値の94% 5取引日毎に、直前5取引日間の平均VWAPの94%に修正
行使コミット	約3か月で原則行使コミット

※ 本新株予約権は、発行株数が固定されている為、所謂MSCBとは根本的に異なる設計です

短期間且つ相当程度蓋然性の高い資金調達

他の資金調達手段との比較



本資料の取扱いについて



- 本資料は、投資判断の参考となる情報の提供を目的としており、投資勧誘を目的としておりません。
- 本資料は、正確性を期すべく慎重に作成されていますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害について、当社は一切の責任を負いません。
- 本資料は、いわゆる「見通し情報（forward-looking statements）」を含んでおります。これらは、現在における見込、予測及びリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。それらリスクや不確実性には一般的な業界ならびに市場の状況、金利、為替変動といった一般的な国内及び国際的な経済状況が含まれます。
- 今後、新たな情報・将来の出来事等が発生した場合でも、当社は本資料に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。